

くすの木通信

三高だより第193号

「Five Goals」

進路課長 井川 美穂

2学期後半は、1年生は文理選択、2年生は具体的な進路目標の設定、そして3年生は推薦入試や一般入試に向けてひたむきに取り組む時期です。選択を迫られて悩んだり、不安になったりする時期でもあります。そのような皆さんに一つ提案があります。それは、Five Goals(5つの目標)を決めて宣言することです。

以前、私が3か月間の研修を受けた時、一緒に研修を受けることになったグループ10人に与えられた最初の課題は、自分のFive Goalsを決めること、そしてそれをみんなの前で発表することでした。研修ですから具体的な目標を設定して臨むのは当然です。しかし、目標の内容よりも、みんなの前で宣言することが実は重要だったのです。それぞれが自分の目標を宣言して、グループのみんなで共有する。そしてそれを達成するためにお互い協力し合う。これが課題の意図だったのです。皆さんの中には、人前で夢や目標を語ったりすることに戸惑いを感じる人もいるでしょう。私自身もそのように感じていました。

Five Goalsを宣言した後、さまざまな変化がありました。Five Goalsを意識することで、私自身のアンテナが常にピンと立ち、情報のほうが近寄ってくるような感覚になるくらい、自分に必要な情報がアンテナに引っかかるようになりました。そして、何よりも大きな変化として、仲間が目指しているものを互いに知ったことで、一人の目標がみんなの目標になり、互いに情報やアイデアを提供しあうようになりました。当然、自分とは異なる考えの人との摩擦もありました。しかし、この摩擦によって、自分の考えが磨かれることもたくさんありました。一人で黙々とひたむきに取り組むことは尊いことですが、一人で目標を達成するのには、限界があります。周りのメンバーの支えによって、私は大きな成果を得ることができたのです。

今、みなさんの周りには親友、クラスや部活動の仲間そして先生たちがいます。家に帰れば家族がいます。その人たちに自分のGoalを話してみませんか。きっとあなたの周りの人たちは、あなたがGoalを達成する手助けをしてくれるはずです。そのためにも何でも構いませんから、まずはGoalを決めてください。

高校を卒業すれば、さまざまな場で学び、また教える立場になるでしょう。学校だけが学びの場ではありません。就職すれば会社が、親になれば家庭が、そして地域が、学び、教える場になります。そのような時に、一人で悩まずにあなたが取り組んでいることを周りの人に話して、共有してもらってください。そうすることで、きっと周りの人があなたを支えてくれると思います。もちろんあなたも人を支える側になれます。そのような環境を自分で作り出してください。あなた自身も環境の一部であり、環境は与えられるものではなくて、自分たちで作るものです。今、みなさんがいるこの三島高校が、お互いの夢や目標を共有しあえる素晴らしい集団であることを願います。